

News Release

高彩度でリアルな色再現と豊富な自動化機能 デジタル印刷システム「AccurioPress C84hc」発売 ～独自のハイクロマトナーで、より自然で印象的な印刷を求めるニーズに対応～

2023年10月30日

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：大幸 利充、以下 コニカミノルタ）は、モニター画面に近い鮮やかな色合いを表現できるハイクロマトナー（高彩度トナー）採用のデジタル印刷システム「AccurioPress(アキュリオプレス) C84hc」を2023年11月10日より発売します。

「AccurioPress C84hc」は、独自の色再現性によりフォトビジネスやデザイン業務など新しい印刷需要を開拓した「AccurioPress C83hc」の後継機にあたります。高く評価を得たリアルな表現力に、断裁などの後処理、検品検査、用紙設定などを自動で行う豊富なオプション群を追加することで、印刷現場の効率化を推進し、ビジネス拡大をサポートします。



【「AccurioPress C84hc」が提供する価値】

1. ハイクロマトナーの広い色域を活用し、より自然で印象的な印刷物を提供

AccurioPress C84hcは、ハイクロマトナーの広い色域を活用することで、RGBのモニター色に近い色が再現できます。CMYKトナーでは再現困難であった夕焼けの紫、花のピンク、ハイキーなグリーンやブルー等をよりリアルに表現します。アパレルカタログやファッション系のアイテム写真等で、フォトグラファーやデザイナーの意図をより忠実に伝えることが可能です。

ハイクロマトナーは、粒状感が少なく、肌のざらつき感が抑えられた滑らかなスキントーンが得られるため、スタジオ写真の印刷、フォトブック印刷などに最適です。また、アニメの下書きやイラスト、ピンクや明るいグリーンの多い同人誌など、作者の色に対するこだわりを忠実に再現する印刷物を提供できます。

AccurioPress C84hcは、インパクトのあるPOPやポスター、パッケージへの活用などの印刷を通じて製品や販促物の差別化も可能にします。



高彩度な花の色や明るくクリアなブルーグリーンの再現



オーロラや水面の明るく深い色を再現



2. 豊富な機能を持つオプション群により印刷工程の効率化を実現

AccurioPress C84hcはオプションのトリマーユニット（TU-510）を装着すると、四方断裁、クリース（折り目）^{*1}、ミシン目^{*2}などの用紙処理を組み合わせることで自動で処理することができ、複雑な印刷工程にもかかわらず、短時間で大量生産することが可能です。

例えば、1枚の用紙から21枚（3 x 7）の名刺作成^{*3}、長尺紙への折り目加工、さらに最大で通紙方向に5本と通紙方向に対して垂直方向に2本ミシン目をつけられます。リアルで鮮やかな色再現による印刷物をインラインで後加工し、付加価値の高いアウトプットを効率的に実現します。



【名刺を両面印字、断裁】

【観音折りカタログ】

【ミシン目】

3. デジタル印刷の特長を活かし、社会課題解決に貢献

労働人口の減少は殆ど全ての産業に共通する社会課題ですが、特に熟練の技術者に依存している印刷業界では、より深刻です。AccurioPress C84hcは、オプションの自動品質最適化ユニットインテリジェントクオリティオプティマイザー（IQ-501）との組み合わせで、生産性を落とすことなく、色調や表裏見当をリアルタイムで監視し自動補正します。今まで熟練者が手間をかけていた作業が自動化されることで、経験やノウハウの少ないオペレーターでも高品質な印刷物を安定して生産することが可能です。別オプションのインテリジェントメディアセンサー（IM-101）は用紙の種類と坪量を自動的に検知します。高度な専門知識やノウハウがなくても、検知結果により操作画面に表示された用紙の候補から選択するだけで、短時間で適切な用紙設定が可能です。

また、気候変動や限られた資源といった環境問題への社会的関心の高まりに伴い、印刷物やその印刷工程に対する要求も変化してきています。AccurioPress C84hcは、必要な時に必要な場所で必要な分だけ印刷することができるというデジタル印刷機の特長を活かし、多様化するニーズに合った高付加価値の印刷物と印刷工程の効率化を提供します。在庫費用と工数を削減するだけでなく、廃棄ロスも最小化することができ、環境負荷低減にも貢献します。

【「AccurioPress C84hc」の主な仕様】

生産性	A4サイズ	81 ページ/分
連続プリント速度	A3サイズ	45 ページ/分
出力解像度	3,600dpi × 2,400dpi	
用紙対応力	対応用紙坪量	62~360g/m ²
	長尺紙印刷	1,300mm(片面)、864mm (両面)
調整自動化	インテリジェントクオリティーオプティマイザー/IQ-501 (色調と表裏見当の自動補正、及びリアルタイム監視・調整)	
本体サイズ	W800×D903×H1,076 mm	
本体質量	約305kg	

【本体標準価格】

9,402,000円 (税別)

※各種ユニット、オプション、設置料金は、別料金となります。

【お客様のお問い合わせ先】

コニカミノルタジャパン株式会社 お客様相談室

TEL : 0120-805-039

*1 : 追加オプション クリーサーユニットCR-102あるいはCR-103が必要です。

*2 : 追加オプション パーフォレーションユニットPE-101あるいはPE-102が必要です。

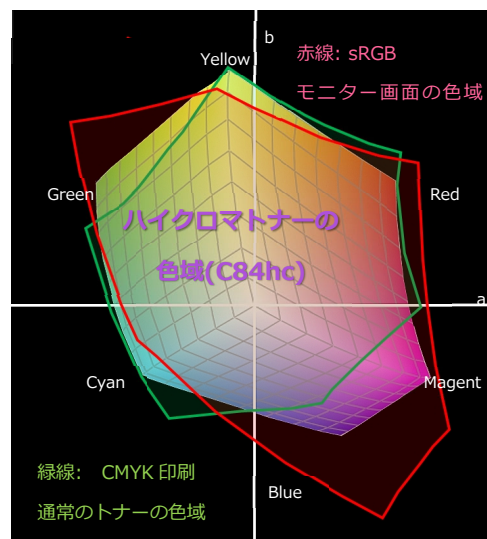
*3 : 追加オプション セパレータユニットJS-507が必要です。

※製品の仕様・外観・価格は都合により予告なしに変更する場合があります。

■ハイクロマトナー(高彩度トナー)について

私たちが見慣れたスマートフォン、パソコンなどのモニター画面は、通常のトナーより広い色域をカバーしているため、通常のトナーを使ったデジタル印刷では、特に、ピンクや紫、明るい緑の色域が狭く、印刷すると色がくすんだり濁ったりしてしまいます。この問題を解決するために、コニカミノルタは、彩度と明度をさらに高めたハイクロマトナーを開発し、モニター画面に近い色再現領域を実現させました。

トナーには様々な素材が含まれていますが、その中で色に関係するのが色材です。ハイクロマトナーには、独自のカラー色材技術を応用した、銅キレート型のマゼンタ色材とフタロシアニン型のシアン色材が使われています。特にマゼンタ色材は、カラー写真に実用していたピラゾロトリアゾールという分子骨格をベースに、色素のキレート化技術を用いた大変ユニークな色材で、他の追随を許さない高い色再現性を実現しています。



報道関係お問い合わせ先

コニカミノルタ株式会社 広報部

担当 : 安部 寛 080-6831-8742

※安部が不在の場合は北 (070-3669-8853) へ